

## 建築確認申請

# OCR票記入の手引き

本手引きは、建築審査課窓口で配布しているOCR票用紙に手書き記入することを前提に記載しています。

パソコンでOCR票印刷エクセルファイルに入力し印刷する場合は、本手引きとOCR票印刷エクセルファイルの各セルのコメントを参考に入力してください。

また、印刷の際に背景の票様式と入力した文字がずれますが、気にせずそのまま印刷し提出してください。

令和2年7月

名古屋市住宅都市局

# 目次

1. OCR票の記入について -----	1
(1) OCR票の取扱い及び記入にあたっての一般的注意事項 -----	1
(2) 各項目の記入方法及び留意事項 -----	2
※〔共通項目（建築物・工作物・昇降機）〕 -----	2
※〔建築物項目〕 -----	5
※〔工作物項目〕 -----	8
※〔昇降機項目〕 -----	9
2. コード一覧 -----	10
※大臣・知事コード -----	10
※前面道路種別、高度地区、臨海部防災区域、風致地区コード -----	10
※工事種別、工作物種別、昇降機種別、構造コード -----	11
※用途コード（主要用途・棟用途） -----	12
3. OCR票記載例	
①建築物用（2例） -----	14
②工作物用（1例） -----	16
③昇降機用（1例） -----	17
4. 区BCコード一覧 -----	別冊

# 1. OCR票の記入について

## (1) OCR票の取扱い及び記入にあたっての一般的注意事項


- ◇ OCR票は、建築物用・工作物用・昇降機用の3種類がありますので、各々の確認申請に応じた用紙に記入して提出してください。なお、建築物と工作物、建築物と昇降機の同時申請はシステム上処理できないため、別申請にご協力ください。
- ◇ OCR票はコンピュータで読み取りますので、汚さないでください。また、記入欄以外や裏面には記入しないでください。
- ◇ 下記の数字やカナ等の記入例を参照して、HBの鉛筆で読取枠内に正確に記入してください。ただし、読取枠以外の部分（事務所名称他）はゴム印でもかまいません。
- ◇ 誤記の場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。
- ◇ コード項目 {大臣・知事コード、前面道路種別、高度地区、臨海部防災区域、風致地区、用途コード、工事種別、構造コード、工作物種別、昇降機種別} については、10～13頁のコード一覧を参照して記入してください。なお、区BCコードは別冊の区BCコード一覧表を参照してください。
- ◇ カナで記入する項目は建築主氏名カナ欄のみですから、その他の項目は数字で記入してください。
- ◇ 小数点付きの項目（面積・高さ等）は、小数点の位置に注意して記入してください。



[数字・カナ等記入例]

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	棒サイン	(悪い例)		
手書き数字										o	4		
										/	6		
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ			1	7
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト			2	8
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ				
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ				
ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		”	°	「	」	-		
手書きカナ													

(注1) 数字は可能な限り8字型のガイドラインに添って枠内に記入してください。

(注2) サイン項目は枠内の破線に添って記入してください。

(注3) カナについては記入枠  の中にバランスよく記入してください。

   は枠内の上半分に、 は枠内の下半分に記入してください。

(2) 各項目の記入方法及び留意事項

※ [共通項目 (建築物・工作物・昇降機)]

① 建築主関係

- ◇ 建築主の住所・氏名については該当欄に漢字等で記入してください。また、建築主が法人の場合は法人名・役職名欄にも記入し、氏名欄に代表者名を記入してください。
- ◇ 郵便番号は郵便番号簿を参照して左づめで記入してください。
- ◇ 建築主の住所が名古屋市内の場合は、下記の記入例を参考にして(区BC)コード及び番地・号を左づめで記入してください。(区BC)コードは別冊の区BCコード一覧表を参照して記入してください。なお、市外の場合は、(区BC)コード・番地・号の記入は不要です。(注4)

[記入例] --- 番地・住居表示

\* 住居表示の場合

中区三の丸三丁目1番1号

	町名	区BCコード
	三の丸三丁目	06031

(注5)



住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)
06031	1-1

\* 字名がある場合

中川区富田町大字万場字桑下690番地の2

	町名	区BCコード
	富田町万場桑下	10118008

(注6)



住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)
10118008	690-2

\* その他 町・丁目がある場合

千種区青柳町4丁目12の1番地

	町名	区BCコード
	青柳町X丁目	0100100X

(注7)



住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)
01001004	12-1

- (注4) (区BC)コード = 区コード(2桁) + Bコード(3桁) + Cコード(3桁)
- (注5) 住居表示、町名町界整理された地区の場合には、Cコードは不要ですから区コード(2桁)とBコード(3桁)を記入してください。
- (注6) 字名がある場合にはCコードまでの8桁で記入してください。
- (注7) 別冊の区BCコード一覧表で、X丁目のCコードが00Xとなっている場合には、Xを該当の丁目の数字に置き換えてください。

◇ 建築主氏名カナ欄は、下記の記入例を参考にしてカタカナで氏名または法人名を左づめで記入してください。なお、共有者がある場合にはカナ欄に代表者を記入し、共有者の数を他名欄に右づめで記入してください。また、個人の場合には氏と名の間は1文字分あけて記入し、法人の場合にはその名称を「」付きで記入してください。

◇ 建築主の電話番号は、該当欄に市外局番・局番・番号をそれぞれ一でつなぎ、数字で左づめにし記入してください。携帯電話等の番号で□が足りない場合は一無しで記入して下さい。

〔記入例〕 —— 個人申請の場合、法人申請の場合、電話番号

(氏名)	(カナ氏名)	(共有者)
名古屋太郎	→ ナコバヤタロウ	---
愛知次郎・岐阜三郎	→ アイジシロウ	他 1 名

(法人名)	(役職名)	(氏名)	(カナ氏名)
有限会社名古屋産業	代表取締役	東海花子	→ 有限会社名古屋産業
名古屋工業株式会社	岐阜支店長	三重五郎	→ 名古屋工業株式会社
-----	名古屋市長	河村たかし	→ 河村たかし

(電話番号)

052-972-2927 → 052-972-2927

090-0000-0000 → 090-0000-0000

(注1) 濁音の □ や半濁音の □ は1文字として記入してください。

(注2) 間違えやすい文字の例を示しますので、記入には注意してください。

(カナとカナ) → アとマ、エとユとコ、カとヤ、シとツ、ソとンとニ、  
タとク、テとチ、ナとメ、ハとヘ、ヨとヲ、ワとフ

(カナと数字) → クと7、ワと7、ノと1、チと4、ヨと3

(数字と数字) → 0と6、1と7と9、5と6

## ② 設計者関係

◇ 設計事務所名を事務所名称欄に漢字等で記入してください。なお、別に連絡先がある場合には連絡先名と電話番号を記入してください。

◇ 事務所登録番号・建築士登録番号を下記の記入例を参考にして該当欄に数字で右づめにし記入してください。なお、大臣・知事・コード(3桁)は10頁のコード一覧に掲載してあります。(注8)

◇ 事務所の電話番号は、該当欄に市外局番・局番・番号をそれぞれ一でつなぎ、数字で左づめにし記入してください。携帯電話等の番号で□が足りない場合は一無しで記入して下さい。

〔記入例〕

(事務所登録番号)	1級建築士事務所	愛知県知事登録 (い) 第3795号
	⇒ ⇒ ⇒	023-1-□□3795
(建築士登録番号)	1級建築士	国土交通大臣登録 第34600号
	⇒ ⇒ ⇒	100-1-□34600
	木造建築士	岐阜県知事登録 第7681号
	⇒ ⇒ ⇒	021-3-□□7681 (注9)

(注8) 事務所登録番号と建築士登録番号の記入欄の順序が確認申請書と異なるため、誤りやすいので注意してください。なお、事務所登録番号には大臣登録(コード100)はありません。

(注9) 設計者が建築士以外の場合には、②設計者の欄への記入は不要です。

### ③ 建築場所関係

- ◇ 建築場所は地名・地番を該当欄に漢字等で記入してください。なお、地名・地番は住所や住居表示とは異なりますので、土地の登記簿に記載された土地の地番を記入してください。○番○号という地番はありません。
- ◇ 所在地(区BC)コード及び地番は、下記の記入例を参考にして左づめで必ず記入してください。(区BC)コードは別冊の区BCコード一覧表に掲載してあります。
- ◇ 建築場所の地番が複数ある場合には、代表地番を地番欄に記入してその他の地番の筆数を他筆欄に右づめで記入してください。なお、建築敷地の所在が2以上の町名等にまたがっている場合には、過半の町名等の(区BC)コード及び地番を記入してください。(注4)
- ◇ 建築場所の地番は町名変更等により変更されている場合がありますので、注意してください。(旧地番での申請不可)

#### 〔記入例〕 --- 地名・地番

##### \* 住居表示地区の場合

中区三の丸三丁目101番

町名	区BCコード
三の丸三丁目	06031

(注5)

⇒

住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)	他
06031	101	筆

##### \* 字名がある場合

中川区富田町大字万場字桑下690番2

町名	区BCコード
富田町万場桑下	10118008

(注6)

⇒

住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)	他
10118008	690-2	筆

##### \* その他 町・丁目がある場合

千種区青柳町4丁目121番、122番

町名	区BCコード
青柳町4丁目	0100100X

(注7)

⇒

住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)	他
01001004	121	筆

(注4)～(注7)については、2ページを参照ください。

※建築場所の(区BC)コードが別冊の区BCコード一覧表で不明の場合には、担当者にお尋ねください。

※ [建築物項目]

④ 用途地域関係

- ◇ 建築敷地の該当する用途地域に棒サインをしてください。敷地が複数の用途地域にまたがる場合には、各々の用途地域に棒サインをしてください。なお、準住のサイン欄は近商と商業の間に設けてありますので注意してください。

⑤ 防火地域関係

- ◇ 建築敷地の該当する防火地域に棒サインをしてください。敷地が複数の地域にまたがる場合には、各々の地域に棒サインをしてください。

⑥ その他地域・地区関係

- ◇ 敷地が、特別工業地区・文教地区・区画整理区域・宅地造成等規制区域・都市景観整備地区に該当する場合及び、開発・計画道路・地下鉄沿線・河川・公園・緑地・臨港地区・地区計画・その他の合議が必要な場合には、それぞれ該当欄に棒サインをしてください。
- ◇ 敷地が、高度地区・臨海部防災区域・風致地区に該当する場合は、その種別について10頁のコード一覧を参照してコード(1桁)で記入してください。なお、それぞれ異なる種別にまたがる場合には、過半部分の種別コードを記入してください。
- ◇ 備1欄は記入しないでください。

⑦ 建築条件関係

- ◇ 前面道路の種別については10頁のコード一覧を参照してコード(1桁)で記入し、幅員については現況の幅員を小数点以下1桁(第2位切り捨て)の数値で記入してください。なお、2以上の前面道路がある場合は最大幅員の道路の種別・幅員を記入してください。また、前面道路の種別が不明の場合は、担当者にお尋ねください。
- ◇ 外壁後退については、都市計画で定められた後退距離(1m又は1.5m)を記入してください。風致地区等で定められた後退距離は記入しないでください。なお、第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域以外では外壁後退はありません。
- ◇ 地域建ぺい率・地域容積率については、都市計画で定められた数値を%ではなく1/10単位で記入してください。建築物についての建ぺい率・容積率ではありません。また、敷地が2以上の用途地域にまたがっている場合には、按分した数値を小数点以下1桁(第2位切り捨て)で記入してください。なお、角地緩和、地階緩和、防火地域内の耐火建築物等緩和、準防火地域内の耐火・準耐火建築物等緩和、共用廊下緩和等及び前面道路幅員による数値を記入しないでください。
- ◇ 地階緩和欄は、地階の住宅部分の容積率緩和を適用する場合に棒サインをしてください。
- ◇ 角地緩和欄は、建築敷地が建ぺい率緩和を適用できる角地に該当する場合に棒サインをしてください。
- ◇ 共廊欄は、共同住宅の共用廊下等の部分に係る容積率の不算入措置を適用する場合に棒サインをしてください。

- ◇ 除却工事を伴う場合、一部借地（借地証明添付）の場合、全借地の場合、工場調書が添付されている場合、不適合物件の場合、その他念書・誓約書・請書を添付した場合には、それぞれ該当する欄に棒サインをしてください。
- ◇ 建築基準法上の許可物件、認定物件、建築協定区域内物件、駐車場調書提出物件、中高層建築物紛争予防条例の共同住宅型集合建築物に該当する物件（10戸以上）、省エネ計画書提出物件の場合には、それぞれ該当する欄に棒サインをしてください。
- ◇ 住宅戸数欄は、長屋・共同住宅の場合に世帯向（住戸面積 30 m<sup>2</sup>以上）とワンルーム（住戸面積 30 m<sup>2</sup>未満）に分けて、それぞれの戸数を該当欄に右づめで記入してください。なお、専用住宅・併用住宅の場合でも世帯向欄に住宅戸数を記入してください。
- ◇ 駐車台数欄は、敷地内の駐車可能台数（青空駐車スペースも含む）を住宅用とその他用に分けて、それぞれ該当欄に右づめで記入してください。
- ◇ 中高層建築物紛争予防条例適用物件については、説明状況等報告書番号を下記の記入例を参考にして該当欄に右づめで記入してください。なお、説明状況等報告書番号が不明の場合は建築指導課建築相談係にお尋ねください。

〔記入例〕

説明状況等報告書番号 506-21 ⇒ ⇒ ⇒ 

5	0	6
---	---	---

—

	2	1
--	---	---

(2005年度 中区の 第21号)

年度                      区                      番号

- ◇ 備3欄、備4欄は記入しないでください。

⑧ 申請概要関係

- ◇ 主要用途欄は、敷地単位で建築物の主な用途をコード一覧を参照してコード（3桁）で記入してください。なお、用途コードが不明の場合は担当者にお尋ねください。また、主要用途名についても記入欄に具体的に漢字等で記載してください。
- ◇ 工事種別欄についても、敷地単位で申請建築物の工事種別をコード一覧を参照してコード（1桁）で記入してください。2種類以上の工事種別がある場合には、主なものを2種類のみコードで記入してください。
- ◇ 申請棟数欄については、今回の確認申請に係る棟数を右づめで記入してください。
- ◇ 工事種別に移転・用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替がある場合には、その申請部分の面積を該当欄に小数点以下2桁（第3位切り上げ）で記入してください。なお、新築・増築・改築のみの場合には、この欄に記入しないでください。
- ◇ 前回確認番号欄は、前回の確認申請の番号（取下・取止の番号を含む）が分かっている場合には、該当欄に下記の記入例を参考にして、右づめで番号を記入してください。  
前回の確認が指定確認検査機関による場合、9ページ下部の※を参照ください。

〔記入例〕（前回確認番号）

旧番号	-----	確認番号 301-123 (昭和63年度 千種区の 123番)	⇒	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>6</td><td>3</td><td>0</td><td>1</td></tr></table> — <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr></table>	6	3	0	1			1	2	3
6	3	0	1										
		1	2	3									
				年度                      区                      番号									
		確認番号 0350-12 (平成3年度 計画通知の 12番)	⇒	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>3</td><td>5</td><td>0</td></tr></table> — <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td>1</td><td>2</td></tr></table>	0	3	5	0				1	2
0	3	5	0										
			1	2									
				年度                      種別                      番号									
新番号	-----	確認番号 00-1234 (2000年度 1234番)	⇒	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table> — <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td> </td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	2	0	0	0		1	2	3	4
2	0	0	0										
	1	2	3	4									
				西暦年度                      番号									



## ⑨～⑫ 面積関係

- ◇ 確認申請書の面積欄と同様に、敷地面積及び建築面積・延べ面積・駐車場等面積を申請部分・申請以外の部分・合計に分けて、小数点以下2桁の数値で記入してください。なお、敷地面積は小数点以下第3位を切り捨てるものとし、その他は切り上げて記入してください。

## ⑬ 主要棟関係

- ◇ 確認申請に係る棟のうち主要な棟の概要と建築設備について記入してください。

### 《棟概要》

- ◇ 棟用途欄は、コード一覧を参照して棟の主な用途をコード（3桁）で記入してください。なお、棟用途コードが不明の場合は担当者にお尋ねください。
- ◇ 工事種別欄は、棟の工事種別をコード一覧を参照してコード（1桁）で記入してください。2種類以上の工事種別がある場合には主なものを記入してください。
- ◇ 構造欄は、棟の構造をコード一覧を参照してコード（2桁）で記入してください。なお、構造コードは細分化されていますので最もふさわしいコードを記入してください。特に柱・梁等の構造が混在している場合には混構造コードを選択してください。
- ◇ 最高の高さ・最高の軒高については、棟単位で既存部分も含めて最高の部分（PH部分を除く）について小数点以下2桁（第3位切り上げ）の数値で記入してください。
- ◇ 階数については、棟の地上階数・地下階数・塔屋階数（塔屋部分のみの階数）を該当欄に記入してください。

### 《設備》

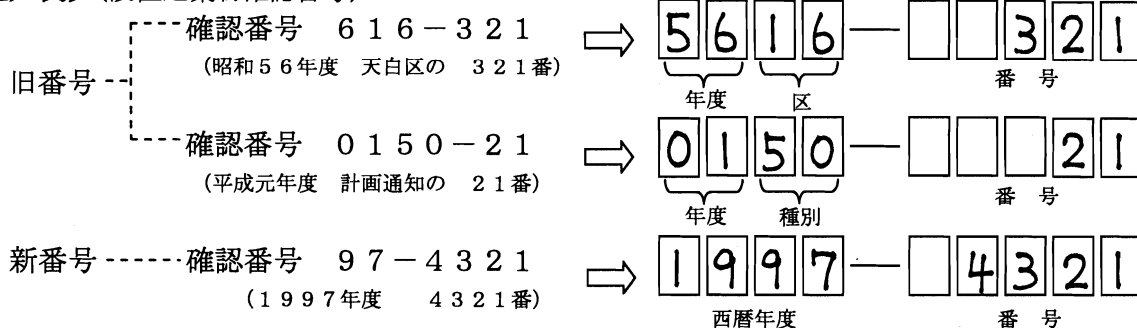
- ◇ 換気は、階数が3以上かつ延べ面積が500㎡を超える建築物又は延べ面積が1000㎡を超える建築物について、換気設備の種類を自然換気・機械換気・空調・給気機のみ・排気機のみの場合に分けて該当欄に棒サインをしてください。なお、複数に該当する場合はそれぞれにサインしてください。（※シックハウスの換気設備も含まれます。）
- ◇ 排煙は、階数が3以上かつ延べ面積が500㎡を超える建築物又は延べ面積が1000㎡を超える建築物について、排煙設備の種類を自然排煙・機械排煙・告示1436号の場合に分けて該当欄に棒サインをしてください。なお、複数に該当する場合はそれぞれにサインしてください。
- ◇ 非常照明については、設備のある場合に電池内蔵型・別置蓄電池型・発電機型・告示1411号の該当欄に棒サインをしてください。なお、複数にサインしてもかまいません。
- ◇ 浄化槽を新設する場合は、単独浄化槽・合併浄化槽のいずれか該当する方の欄に棒サインをしてください。（※一般的には合併浄化槽となります。）
- ◇ 避雷針がある場合は、該当欄に棒サインをしてください。
- ◇ 昇降機がある場合には、エレベータ（EV）、エスカレータ（ES）、小荷物専用昇降機の該当欄に棒サインをしてください。なお、複数にサインしてもかまいません。

## ※ [工作物項目]

### ④ 設置建築物確認番号関係

- ◇ 工作物が設置される建築物の確認番号が分かっているときには、該当欄に下記の記入例を参考にして、右づめで番号を記入してください。

[記入例] (設置建築物確認番号)



### ⑤ 工作物概要関係

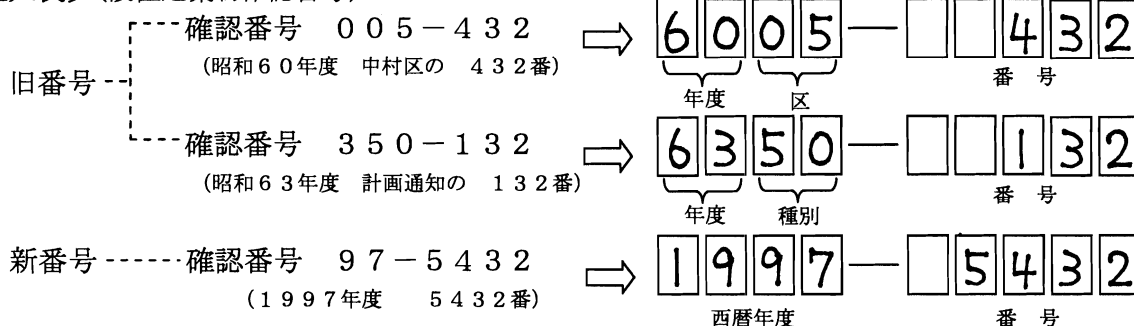
- ◇ 申請工作物が2以上ある場合には、主なものについて記入してください。
- ◇ 種別欄は、OCR票に記載のコード表を参照して工作物の種別コード（2桁）で記入してください。
- ◇ 工事種別欄及び構造欄は、工作物の工事種別・構造をそれぞれOCR票に記載のコード表を参照してコードで記入してください。
- ◇ 高さ欄は、工作物の高さを小数点以下2桁（第3位切り上げ）の数値で記入してください。
- ◇ 築造面積欄は、築造面積があるものについて小数点以下2桁（第3位切り上げ）の数値で記入してください。
- ◇ 設置数欄は、今回の確認申請に係る工作物の設置数を数字で必ず記入してください。
- ◇ 遊戯施設の場合は、積載量・最大定員・定格速度をそれぞれ該当欄に単位に注意して数字で記入してください。

## ※ [昇降機項目]

### ④ 設置建築物確認番号関係

- ◇ 昇降機が設置される建築物の確認番号が分かっているときには、該当欄に下記の記入例を参考にして、右づめで番号を記入してください。

[記入例] (設置建築物確認番号)



### ⑤ 昇降機概要関係

- ◇ 種別欄は、OCR票に記載のコード表を参照して昇降機の種別をコード（2桁）で記入してください。
- ◇ 製作所欄は、昇降機の製作所をコード（3桁）で記入してください。製作所コードが不明の場合は建築審査課設備審査係にお尋ねください。
- ◇ 昇降機の積載量・最大定員・定格速度をそれぞれ該当欄に単位に注意して数字で記入してください。なお、エスカレータの場合は積載量の単位は人/時で記入してください。
- ◇ 設置数欄は、今回の確認申請に係る昇降機の設置数を数字で必ず記入してください。

※ (前回確認番号・設置建築物確認番号が指定確認検査機関の確認番号の場合)

前回の確認が指定確認検査機関による場合、あるいは工作物や昇降機が設置される建築物の確認が指定確認検査機関による場合の確認番号欄には、確認番号の代わりに名古屋市の電算処理の際の整理番号を記入してください。整理番号につきましては、建築審査課審査総括係にお尋ねください。

## 2. コード一覧

大臣・知事コード（建築士資格・事務所資格）

100	大臣	023	愛知県	021	岐阜県	022	静岡県	024	三重県	013	東京都
001	北海道	002	青森県	003	岩手県	004	宮城県	005	秋田県	006	山形県
007	福島県	008	茨城県	009	栃木県	010	群馬県	011	埼玉県	012	千葉県
014	神奈川県	015	新潟県	016	富山県	017	石川県	018	福井県	019	山梨県
020	長野県	025	滋賀県	026	京都府	027	大阪府	028	兵庫県	029	奈良県
030	和歌山県	031	鳥取県	032	島根県	033	岡山県	034	広島県	035	山口県
036	徳島県	037	香川県	038	愛媛県	039	高知県	040	福岡県	041	佐賀県
042	長崎県	043	熊本県	044	大分県	045	宮崎県	046	鹿児島県	047	沖縄県

前面道路種別コード

1	幅4m以上の公道等
2	三号道路（私道等）
3	位置指定道路
4	2項道路（公道等）
5	旧建築線（私道）
6	接道ただし書き
7	道路内建築物
9	その他

高度地区コード

1	10m高度地区
2	15m高度地区
3	20m高度地区
4	最低限高度地区
5	31m高度地区
6	絶対高31m 高度地区
7	45m高度地区
8	絶対高45m 高度地区

臨海部防災区域コード

1	第1種区域
2	第2種区域
3	第3種区域
4	第4種区域

風致地区コード

1	第1種風致地区
2	第2種風致地区

工事種別コード

1	新 築
2	増 築
3	改 築
4	移 転
5	用途変更
6	大規模の修繕
7	大規模の模様替

工作物種別コード

01	屋上広告塔・装飾塔
02	袖看板
03	独立広告・装飾塔
04	サイロ等
05	高架水槽
06	擁壁
07	遊戯施設
08	煙突
09	鉄柱等
10	その他

昇降機種別コード

01	乗用E V
02	人荷用E V
03	荷物用E V
04	寝台用E V
05	自動車用E V
11	エスカレーター
21	ホームE V
31	小荷物専用昇降機
41	車いす専用昇降機
42	いす式斜行型階段昇降機
51	その他

構造コード

木 造	木造（在来工法）	11
	木造（桝組壁工法）	12
	木造（大断面）	13
	木造（丸太組工法）	14
	木造（特殊工法・工業化住宅等）	19
鉄骨造	鉄骨造（重量鉄骨）	21
	鉄骨造（軽量鉄骨）	22
	鉄骨造（特殊工法・工業化住宅等）	29
RC 造	鉄筋コンクリート造（RC）	31
	壁式鉄筋コンクリート造（WRC）	32
	壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPC）	33
	鉄筋コンクリート造（壁式ラーメン）	34
	鉄筋コンクリート造（特殊工法・工業化住宅等）	39

SRC 造	鉄骨鉄筋コンクリート造	41
CB 造	コンクリートブロック造	51
組積造	レンガ造・石造等	61
膜構造	膜構造	71
その他	アルミニウム合金造等	81
混構造	混構造（木造+S造）	91
	混構造（木造+RC造）	92
	混構造（S造+RC造）	93
	混構造（SRC造+RC造）	94
	混構造（SRC造+S造）	95
	混構造（その他）	99

用途コード(主要用途・棟用途)

法別表第1に記載のない用途(1)	
100	専用住宅
110	併用住宅
111	併存住宅
120	長屋(専用住宅)
121	長屋(併用住宅)
130	事務所
131	事務所(駐車場付)
132	事務所(店舗等付)
133	銀行
134	研修所(宿泊無)
140	店舗(物販店を除く)
141	ガソリンスタンド等
150	工場・作業場
151	貸工場
152	研究所・試験所・検査所
160	神社・寺院・教会
161	公民館・集会所
170	文化・音楽教室
171	塾
172	囲碁・将棋の会所
173	医院・診療所・施術所
174	動物病院等
180	巡査派出所
181	公衆便所
182	郵便局
183	その他公益施設
184	公衆電話所
185	税務署
186	警察署
187	保健所
188	消防署
189	官公庁(事務所)
190	その他の一般建築物

法別表第1(一)号に掲げる用途	
700	劇場・演芸場
701	映画館
702	観覧場・野球場・競技場
703	体育館・プール等(観覧席付)
704	公会堂
705	集会場・各種ホール
706	結婚式場・葬祭場
707	その他興行場
790	その他(一)号関係建築物

法別表第1(二)号に掲げる用途	
200	共同住宅
201	共同住宅(駐車場付)
202	共同住宅(店舗等付)
210	寮
211	寄宿舎
220	ホテル
221	旅館
222	簡易宿泊所
223	下宿
224	研修所(宿泊有)
230	病院・診療所(患者の収容施設有)
240	老人ホーム
241	老人福祉施設
242	児童福祉施設(保育園・託児所)
243	その他福祉施設
244	隣保館
245	助産所
290	その他(二)号関係建築物

法別表第1(三)号に掲げる用途	
300	幼稚園
301	小学校
302	中学校
303	高校
304	大学
305	専修学校
306	各種学校
307	盲学校・聾学校・養護学校
308	高等専門学校
310	体育館・武道館(観覧席無)
311	ポーリング場
312	スキー・スケート場
313	水泳場(プール)
314	スポーツ練習場
320	博物館・水族館
321	美術館
322	図書館
390	その他(三)号関係建築物

法別表第1(四)号に掲げる用途
400 百貨店
401 スーパーマーケット
402 市場
403 物品販売店舗
410 料理店
411 飲食店
420 キャバレー・バー等
421 ディスコ・ダンスホール
422 パチンコ
423 麻雀屋
424 ゲームセンター・射的場
425 カラオケルーム
426 遊技場(その他)
430 公衆浴場
431 サウナ
432 健康ランド
433 特殊浴場
440 展示場・ショールーム
441 モデルルーム
490 その他(四)号関係建築物

法別表第1に記載のない用途(2)
800 駅
801 バスターミナル
802 料金所等
810 地下街
820 畜舎
821 堆肥舎
822 増殖場・養殖場
830 卸売市場
831 火葬場
832 と畜場
833 汚物処理場・ごみ焼却場
834 その他処理施設
840 発電所・変電所
850 上空通路
851 アークード
860 展望台
890 その他建築物

法別表第1(五)号に掲げる用途
500 倉庫(自家用)
501 貸倉庫
502 倉庫業を営む倉庫
503 危険物倉庫・燃料庫
504 配送センター
505 荷さばき場
590 その他(五)号関係建築物

法別表第1に記載のない用途(附属棟)
900 物置・土蔵・納屋
901 自転車置場
902 機械室・ポンプ室
903 便所
904 管理人室
905 守衛所・詰所
906 茶室
907 離れ
990 その他の附属棟

法別表第1(六)号に掲げる用途
600 車庫
601 機械式駐車場
602 自動車修理工場
603 自動車教習所
604 映画・テレビスタジオ
605 駐輪場
690 その他(六)号関係建築物

(注)法別表：建築基準法別表第1

ただし、この表は用途コードを選  
ぶためのものであり、特殊建築物  
(法6条区分の一号)に該当しなく  
てもかまいません。

(注)用途コードが不明の場合は担当者  
にお尋ねください。

# 3. OCR票記載例

## 記載例1 (個人申請の場合)

この欄の枠内は記入しないでください。

黄 青 黒 赤 緑

建築物用

13

OCR票 ( )

区

中間対象

対象外

元番号: 計変

-

確認番号	年度(西暦)	法 6 条 区 分	計画通知	消防通知	公庫種別
00-000000	00	1号 2号 3号 4号			

(一般注意事項) ○上欄の枠内及び裏面には記入しないでください。  
 ○数字やサインは右の記入例にならって、HBの鉛筆で枠内に記入してください。  
 ○筆記の場合は、きれいに消してから訂正してください。  
 ○このOCR票は直接コンピュータで読み取りますので、折ったり、汚したりしないでください。

(記入例) 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(悪い例) 0 / 1 2 4 6 7 9

サイン項目

申請年月日 17年 12月 1日 指定機関名 指定機関確認番号

1 住所	郵便番号	住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	番地・号(市内の場合のみ記入)
	47048508	06031000	1-10000000
2 法人名	カナ(法人の場合は「」付で法人名を記入)	役職名	共有名義 他
	ナカヤタロウ		1名
3 氏名	漢字(法人の場合は代表者の氏名)(ゴム印可)	建築主電話	
	名古屋 太郎・名古屋 花子	052-972-2927	
4 事務所	知事コード	事務所登録番号(右ツメ)	連絡先(事務所名称(ゴム印可))
	023-1	009876	三の丸建築事務所 中部 五郎
5 建築士	大臣・知事コード	建築士登録番号(右ツメ)	事務所電話
	100-1	999999	052-961-1111
6 建築場所	所在地(区BC)コード	地番	他
	01020008	37000000	1
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号			
7 用途地域	1階 2階 1中 2中 1住 2住 近高 準住 商業 準工業 工業 工業専用 指定なし	5. 防火	準防火 指定なし
		防火地域	
8 その他地域・地区	特別工業 文教 区画整理 宅建 禁煙 閑雑 計画道路 地下鉄 河川 公園 緑地 港湾 地区計画 その他(当選) 選1	高層 経済防災 風致	前面道路(最大幅員のもの) 外壁後退(低住のみ) 地境後退の区 地境容積率 前庭角地
		4 種	1.0m 40.0m 8.0/10 50.0/10
9 建築条件	除却 一部埋地 空留地 工場跡地 不適合 既設 共有 準3 許可 認定 建築協定 建築協定 共有住宅型 省エネ	住宅戸数(右ツメ) (25㎡以下)(右ツメ) 敷地内駐車台数(右ツメ) (右ツメ) 説明状況等報告番号(右ツメ) 選4	
		1 戸	2 台
10 申請概要	主要用途コード	工事種別コード	申請得意(右ツメ) 移転・用途変更・縮減等部分の申請延べ面積 前回確認番号
	100	1	
主要用途名 (専用住宅)			
11 建築面積	申請	申請以外の部分	合
	6046		6046
12 延べ面積	申請	申請以外の部分	合
	17758		17758
13 駐車場等部分(床面積)	申請	申請以外の部分	合
	1638		1638
14 棟概要	標準用途コード	工事種別	構造コード
	100	1	21
15 設備	自然 機械 空調 給気 排気	自然 機械 告示	内蔵 別設 発電 告示

性能規定
構造
設備
耐火
防火避難
その他

防火性能
耐火
イ 準耐1
イ 準耐2
ロ 準耐1
ロ 準耐2
その他

その他合議
西部流通地区
特定街区
ホテル・旅館
生産緑地地区
急傾斜地
水路占用等
処理場等
既設仮使用
緑化
駐輪場
高度利用地区
日影規制
型式認定
その他

容積率対象面積	㎡	地階の住宅緩和部分	㎡	共同住宅の共用部分	㎡
除却床面積	㎡				

(注) 1 「OCR票記入の手引き」を参照の上、各項目に記入してください。  
 2 建築主氏名カカ欄には、カタカナで氏名又は法人名を記入してください。  
 3 コード項目(区BC)コード、大臣知事コード、前面道路種別、主要用途、工事種別、構造については、コード表を参照して記入してください。  
 4 サイン項目は該当するものに捺サインをして、その他の項目は、数字で記入してください。  
 5 読み取り枠のない欄は漢字等で記入してください。(ゴム印可) なお、記入欄以外は何も記入しないでください。



記載例 2 (法人申請の場合)

この欄の枠内は記入しないでください。

黄 青 黒 赤 緑

建築物用 **13** OCR票 ( **区** ) 中間対象 対象外 元番号: 計変 -

確認番号 年度(西暦) 法 6 条 区 分 計画通知 消防通知 公庫種別

(一般注意事項) ○上欄の枠内及び裏面には記入しないでください。  
○数字やサインは右の記入例にならって、HBの鉛筆で枠内に記入してください。  
○横記の場合は、きれいに消してから訂正してください。  
○このOCR票は直接コンピュータで読み取りますので、折ったり、汚したりしないでください。

(記入例) 0123456789  
(悪化例) 0/124679

申請年月日 17年 12月 1日 指定機関名 指定機関確認番号

① 住所 郵便番号 4588585 住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入) 14038 番地・号(市内の場合のみ記入) 15  
名古屋市 緑区 青山ニ丁目15

法人名 緑ビルディング株式会社 役職名 代表取締役

氏名 カナ(法人の場合は「」付で法人名を記入) 共有名義 他  
緑山 一郎 建設主電話 052-621-2111

性能規定
構造
設備
耐火
防火避難
その他

② 事務所 知事コード 023-1 級 事務所登録番号 9999 事務所名称 天白建築設計室  
建築士 大臣・知事コード 100-1 級 建築士登録番号 987654 事務所電話 052-803-1111

防火性能
耐火
イ 準耐 1
イ 準耐 2
ロ 準耐 1
ロ 準耐 2
その他

③ 建築場所 所在地(区BC)コード 14112 地番 1901  
名古屋市 緑区 滝ノ水ニ丁目1901

その他合議
西部流通地区
特定街区
ホテル・旅館
生産緑地地区
急傾斜地
水路占用等
処理場等
既設仮使用
緑化
駐輪場
高度利用地区
日影規制
型式認定
その他

④ 用途地域 1底 2底 1中 2中 1住 2住 近高 出住 高透 準工業 工業 工業専用 指定なし 防火地域 準防火 指定なし

⑤ その他地域・地区 特別工業 文教 区画整理 宅溝 景観 開発 計画道路 地下鉄 河川 公園 緑地 臨港 地区計画 その他(合議) 備1  
高さ 臨海防災 風致 前面道路(最大幅員のもの) 外壁後退(低住のみ) 地域傾斜率 地域容積率 臨海角地

⑥ 建築条件 除却 一部借地 全借地 工場調書 不適合 積雪・共廊 備3 許可 認定 建築協定 駐車場調書 共同住宅型 省エネ  
住宅戸数(右ツメ) 25m以下(右ツメ) 敷地内駐車台数(右ツメ) 説明状況等報告書番号(右ツメ) 備4

⑦ 申請概要 主要用途コード 200 工事種別コード 1 申請種別(右ツメ) 2 修繕・用途変更・修繕等部分の申請種別面積 前回確認番号  
主要用途名(共同住宅) 敷地面積 341215 m<sup>2</sup>

⑧ 建築面積 申請 85011 m<sup>2</sup> 申請以外の部分  
⑨ 延べ面積 262537 m<sup>2</sup>  
⑩ 駐車場等部分(床面積) 1025 m<sup>2</sup> 計 1025 m<sup>2</sup>

⑪ 棟概要 標準用途コード 200 工事種別 1 構造コード 31 最高の高さ 835 m 最高の軒高 785 m 階数地上(右ツメ) 2 地下 1 塔屋  
設備 自然換気 機械換気 空調 給気 排気 自然換気 告示 内蔵別荘 発電 告示 単独合併 給湯 給電 給水 給排水 給電 給水 EV ES 小荷物

容積率対象面積 m<sup>2</sup> 地階の住宅緩和部分 m<sup>2</sup> 共同住宅の共用部分 m<sup>2</sup>  
除却床面積 m<sup>2</sup>

(注) 1 「OCR票記入の手引き」を参照の上、各項目に記入してください。  
2 建築主氏名カナ欄には、カタカナで氏名又は法人名を記入してください。  
3 コード項目(区BC)コード、大臣知事コード、前面道路種別、主要用途、標準用途、構造について、コード表を参照して記入してください。  
4 サイン項目は該当するものに捺サインをして、その他の項目は、数字で記入してください。  
5 読み取り枠のない欄は漢字等で記入してください。(ゴム印可)なお、記入欄以外は何も記入しないでください。

記載例3 (工作物の場合)

この欄の枠内は記入しないでください。

工作物用 **13** OCR票 ( **区** ) 元番号: 計画 -

確認番号 **00-000000** 年度(西暦) **00-000000** 工作物 **1** 計画通知 **1** 公庫種別 **00**

(一般注意事項) ○上欄の枠内及び裏面には記入しないでください。  
 ○数字やサインは右の記入例にならって、HBの鉛筆で枠内に記入してください。  
 ○顔記の場合は、きれいに消してから訂正してください。  
 ○このOCR票は直接コンピュータで読み取りますので、折ったり、汚したりしないでください。

(記入例) **0123456789** サイン項目 **1**  
 (悪い例) **01124679** サイン項目 **1**

申請年月日 **17**年 **12**月 **1**日 指定機関名 **指定機関確認番号**

① 住所 **5148570** **三重県津市広明町13番**

法人名 **有限会社 三重食品** 役職名 **代表取締役**

主氏名 **三重 二郎** 建築主電話 **0592-24-3070**

② 事務所 **024-1-8888** 事務所名称 **四日市設計事務所**

建築士 **100-1-876543** 事務所電話 **0593-54-8104**

③ 築造場所 **06026** **103** **3**  
**名古屋市中区栄四丁目103**

チェック欄

(防火地域)  
 防火  
 準防火  
 無指定

(景観合議)  
 済

(電波電搬路)  
 済

(避雷針)  
 要

- (記入内容の注意) (1)「OCR票記入の手びき」を参照の上、各項目に記入して下さい。  
 (2)建築主氏名カナ欄には、カタカナで氏名又は法人名を記入して下さい。  
 (3)コード項目〔(区BC)コード、大臣知事コード〕については、コード表を参照して記入して下さい。  
 (4)その他の項目は、数字で記入して下さい。  
 (5)読み取り枠のない欄は漢字等で記入して下さい。なお、記入欄以外は何も記入しないで下さい。  
 (6)下欄4、5に工作物の概要を記入して下さい。

○設置建築物確認番号は、工作物が設置される建築物の確認番号を例にならって記入して下さい。  
 (例) 平成3年度以前の確認番号……昭和63年度千種区の123番 ⇨ **6301-00123**  
 (301-123)  
 ……平成3年度計画通知の12番 ⇨ **0350-00012**  
 (0350-12)  
 平成4年度以降の確認番号……平成4年度の1234番 ⇨ **1992-01234**  
 (92-1234)

- 設置数は必ず記入して下さい。  
 ○遊戯施設の場合のみ、積載荷重、最大定員、定格速度を数値で記入して下さい。  
 ○種別、工事種別、構造については次のコード表を参照して記入して下さい。

種別コード	01 屋上広告塔	02 袖看板	03 独立広告	04 サイロ等	05 高架水槽
	06 擁壁	07 遊戯施設	08 煙突	09 鉄柱等	10 その他

工事種別コード	1 新築	2 増築	3 改築	4 その他
---------	------	------	------	-------

構造コード	11 木造	21 S造	31 RC造	41 SRC造	51 CB造
	61 組積造	71 膜構造	81 その他	91 混構造	

④ 設置建築物確認番号 **5606-9999** 既存工作物確認番号 ( )

⑤ 工作物概要

種別コード **01** 工事種別 **1** 構造コード **21** 高さ **01234** m 築造面積 **00000000** m<sup>2</sup> 設置数(右ツメ) **2** 基

(遊戯施設の場合のみ記入して下さい) 積載荷重(ESの場合、人/時) **00000** kg 最大定員 **00** 人 定格速度 **000** m/分

記載例 4 (昇降機の場合)

この欄の枠内は記入しないでください。

昇降機用 **13** OCR票( **区** ) 元番号: 計突 **-**

確認番号 年度(西暦) **00-000000** 昇降機 **1** 計画通知 **1**

(一般注意事項) ○上欄の枠内及び裏面には記入しないでください。  
 ○数字やサインは右の記入例にならって、HBの鉛筆で枠内に記入してください。  
 ○誤記の場合は、きれいに消してから訂正してください。  
 ○このOCR票は直接コンピュータで読み取りますので、折ったり、汚したりしないでください。

(記入例) **0123456789** | サイン項目 **1**  
 (悪い例) **01124679** | **1**

申請年月日 **17**年 **12**月 **1**日 指定機関名 **受付番号**

① 住所	郵便番号	<b>4558520</b>	住所(区BC)コード(市内の場合のみ記入)	<b>11043</b>	番地・号(市内の場合のみ記入)	<b>12-20</b>
	名古屋市港区港明一丁目12-20					
② 法人名	法人名	<b>株式会社 マリン運送</b>		役職名	<b>代表取締役</b>	
	氏名	カタカナ(法人の場合は「」付で法人名を記入)		共有名称, 他	<b>00</b> 名	
③ 事務所	知事コード	<b>023-1</b>	事務所登録番号(右ツメ)	<b>8765</b>	事務所名称(ゴム印可)	<b>愛知設計</b>
	大臣・知事コード	<b>100-1</b>	建築士登録番号(右ツメ)	<b>888888</b>	事務所電話	<b>052-961-2111</b>
④ 建築場所	所在地(区BC)コード	<b>11043</b>	地番	<b>1203-2</b>	他	<b>00</b> 名
	名古屋市港区港明一丁目1203-2					

- (記入内容の注意) (1)「OCR票記入の手引き」を参照の上、各項目に記入してください。  
 (2) 建築主氏名カナ欄には、カタカナで氏名又は法人名を記入してください。  
 (3) コード項目(区BC)コード、大臣知事コードについては、コード表を参照して記入してください。  
 (4) その他の項目は、数字で記入してください。  
 (5) 読み取り枠のない欄は漢字等で記入してください。なお、記入欄以外は何も記入しないでください。  
 (6) 下欄④、⑤に昇降機の概要を記入してください。

○設置建築物確認番号は、昇降機が設置される建築物の確認番号を例にならって記入してください。(名古屋市で確認を受けた場合)

(例) 平成3年度以前の確認番号……昭和63年度千種区の123番 ⇨ **6301-00123**  
 (301-123)  
 ……平成3年度計画通知の12番 ⇨ **0350-00012**  
 (0350-12)  
 平成4年度以降の確認番号……平成12年度の1234番 ⇨ **2000-01234**  
 (00-1234)

- 指定機関で確認を受けた場合は右側の( )に指定機関確認番号を記入してください。  
 ○積載量、最大定員、定格速度は数値で記入してください。  
 ○設置数は必ず記入してください。  
 ○種別については次のコード表を参照して記入してください。

種別コード	01	乗用EV	02	人荷用EV	03	荷物用EV	04	複台用EV	05	自動車用EV
	11	エスカレーター	21	ホームEV	31	小荷物専用昇降機	41	車いす専用昇降機	42	いす式斜行型階段昇降機
	51	その他								

○製作所コードが不明の場合は設備審査係におたずねください。

④ 設置建築物確認番号	(名古屋市で確認を受けた場合)	<b>2005-99999</b>	(右ツメ)	(指定機関で確認を受けた場合)	指定機関確認番号 ( <b>第H17ABC54321号</b> )							
⑤ 昇降機概要	種別コード	<b>02</b>	製作所コード	<b>999</b>	積載量(EVの場合 人/時)	<b>1000</b> kg	最大定員	<b>15</b> 人	定格速度	<b>45</b> m/分	設定数(右ツメ) (最大8基まで)	<b>1</b> 基

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号  
名古屋市 住宅都市局 建築指導部 建築審査課  
TEL 052(972)2927~2932